

武田祐美子さん
からのご紹介



○自己紹介

須坂市でドッグサロンを経営し、ペットのトリミングのほか、宿泊やしつけ教室などを行っています。動物が相手なので、さまざまなトラブルに24時間対応するのは大変ですが、小さな頃から夢だった動物と接する仕事ができるので苦にはなりません。

お寺に嫁いで来て、今は主人とご両親のほか、子ども3人と毎日楽しく過ごしています。「開けたお寺」が私と住職の願いで、ホームページやブログのほか、寺ヨガの開催や仏前結婚式を推奨し、伝統を受け継ぎつつ新しい事にも挑戦しています。お寺の仕事はまだまだ覚えることがいっぱいありますが、檀家の皆さんとお話させていただくことはとても楽しく、自分自身も成長させていただいています。



▲高社山に守られている感じがして、とても安心します。

○中野市のイメージ

高社山がとてもきれいで、雄大な風景はまるで「高社山に守られている」感じがします。

自宅に帰ってきたときに、お寺の後ろに高社山が見える風景が好きで、我が家に帰ってきたのだと実感するとともに安心感に包まれます。

○今後チャレンジしたいこと

県内には、まだ「犬たちの老後の生活ができる場所」が少ないので、飼えなくなってしまう老犬を預かり、飼い主と一緒に泊まることのできる「老犬ホーム」を中野市内に作る事ができたら嬉しいです。お寺の仕事と大好きな動物を結びつけることができるので、ぜひチャレンジしたいと思います。



小野澤 ちか さん
(ドッグサロン経営・竹原)

池田市長の

わくわくレポート

vol. 7



シチズン・リテラシーと
情報提供

『各個人が、自分の存在する社会を理解し、自分の役割を理解し、必要とされる情報、スキルや教養を身に付けた市民になる事が必要であるとし、その身に付けるべきものの総体』のことを「シチズン・リテラシー」というそうです。

シチズン・リテラシーを実現するために、例えば、市の財政における収入構造はおよそ、「税収」対「地方交付税」対「起債・補助金など」が1対1対1の割合であるとか、各種選挙の投票率が県下19市中一番低いといったこと、平均寿命は高いが、健康寿命は他市町村と比べてやや劣るといったことなど、より一層の情報共有、知識の共有が必要だ。

私は諸々の政策遂行にあたり、コミュニケーションに重点を置いてきました。



そのためには、各種施策に対する分かりやすい説明、行政の執行状況等、きめ細かな情報提供にこれからも努めたいと思います。

しかしながら実りあるコミュニケーションとするためには、一定の共通する情報が必要だ。自治体経営においては行政、議会、市民（事業者等各種団体、個人）があたると考えられ、それぞれの利害関係者には共通の情報が必要であり、その上での現状認識をもって初めて、各種施策を決定し、進めることができると思っています。

私を含めて市民一人一人誰もが中野市の将来づくりに参加しようという意欲をいかに醸成するかが問われています。そうした一連のあるべき姿実現の前提として、まず私はシチズン・リテラシーの醸成に取り組む必要があると考えています。

政治的関心度には個々の利害も絡みますが、自助、共助、公助といわれるように、全ての市民が高いシチズン・リテラシーを持ち、まちづくりに一緒に取り組んでいきたい。そうした中野市でありたいと思っています。

そのためには、各種施策に対する分かりやすい説明、行政の執行状況等、きめ細かな情報提供にこれからも努めたいと思います。

キラリ☆中野のチカラ

中野立志館高等学校スキー部



インターハイ総合優勝を目指す

昨年度の全国大会においてクロスカントリーおよびアルペン種目において入賞者を輩出し、今シーズンは中野立志館高等学校としては初のインターハイ総合優勝を目指すスキー部の皆さんにお話を聞きました。

○チームの目標

中野立志館高等学校のスキー部は「つらいときこそスマイル」をスローガンに、練習や試合でもつらい時こそ弱音を吐かずポジティブに考えることができるよう日々臨んでいます。全員とても仲が良く、休憩中は部員の皆で楽しく過ごしますが、練習や試合になるとスイッチが入ったように真剣に挑むことができるメリハリのあるチームです。

調子が良い時だけでなく、悪い時も想定した練習内容を行っており、全国でも上位に入ることができる選手が揃いました。一番の目標は、インターハイの総合優勝を飾ることで、国体など全国大会が続くので、全ての大会で立志館の生徒が上位に入れるように頑張りたいです。

○毎日の練習内容

木島平村のクロスカントリー競技場で体のベースを鍛えるトレーニングやダッシュなどしています。ただ、

内容によっては白馬へ遠征に行くことになるなど、シーズンが始まると全国各地を飛び回ります。

チームだけでなく個人でも目標を高く持つことを心掛けているため、「つらく苦しい」とされるスキー競技でも乗り越えることができ、人間としても成長できているのではないかと思います。

また、授業については自分自身で課題を学習することになりますが、勉強をしっかりとしないと合宿に参加できない場合がありますので、チーム全員が学業をおろそかにすることなく、全てにおいて高い意識を持ちながら毎日を過ごしています。

○市民の皆さんへ一言

市民の皆さんに中野立志館高等学校スキー部を応援していただき、また大勢の方に支えられて、スキーを続けることができていますので感謝の気持ちでいっぱいです。

皆さんの応援を力に変えて、「中野」という名前を全国に広めて来たいと思いますので、ぜひこれからも応援をお願いします。



広報クイズ

■今月のプレゼント

「商工会議所共通商品券
2千円分」：2人

問題

「第1回中野まちゼミ」の参加店舗数は？

クイズの答え、住所、氏名、年齢、電話番号、世帯主名を記入の上、今月の広報で参考になった記事、今後知りたい情報などをはがきに書いて、次の宛先までご応募ください。

締め切り 2月25日(火)必着
※当選はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

先月号の答え 北陸新幹線開通後飯山駅に停車する列車名は「○○○○」
答え・・・「はくたか」

383-8614

(住所記載不要)

中野市庶務課

秘書広報係 行

住所・氏名・年齢・
電話番号・世帯主